4・3国語　正答及び配点

一

問一　4

問二　d

問三　3

問四　（例）社会を円滑に回す働き。

問五
（1）ア　過去の経験則や知識
（2）イ　（例）異なる価値観や理念を持つ人の考えを想像し、社会の変化に対応

問六　2

（配点）※

問一	問二	問三	問四	問五（1）	問五（2）	問六
1	1	2	2	1	3	2

（小計）※　12

二

（1）

問一　脳裏

問二　記号　b　人物　小田切（くん）

問三　（例）自分の内なる声で生じた迷い

問四
ア　ゆるぎない微笑
イ　親愛のこもったほほえみ
ウ　（例）乗る人の望みの実現を手助けする車いすを作りたい

問五　4

（配点）※

問一	問二	問三	問四ア	問四イ	問四ウ	問五
1	両解 2	2	1	1	3	2

（小計）※　12

（2）

問一　2・5

問二　そうちゃく

問三　3

問四　専用

問五　4

（配点）※

問一	問二	問三	問四	問五
全解 2	1	2	2	2

（小計）※　9

三

問一　のみおわりて

問二　人遺リ二一瓢ヲ一

問三　かしかまし

問四　1

問五
（1）ア　（例）質素　イ　（例）私欲
（2）ウ　（例）日本の人は語り伝えさえしない

（配点）※

問一	問二	問三	問四	問五（1）ア	問五（1）イ	問五（2）
1	1	2	2	2	2	2

（小計）※　12

四

採　点　項　目

表記	文字数	構成	内容	※
原稿用紙の正しい使い方に従って書いている。（原稿用紙の正しい使い方は、左記※による。） 文体が統一され、文法上の間違い、誤字、脱字などがなく、仮名遣い、送り仮名などに誤りがない。	十行以上、十二行以内で書いている。	二段落構成になっている。	第一段落には、【案】AとBのそれぞれのよさに触れた上で、どちらの案を選ぶか（どちらを選んでもかまわない。）、自分の考えを書いている。 第二段落には、第一段落を踏まえ、自分が選んだ案について、さらに工夫できることを考えて、理由とともに書いている。	原稿用紙の正しい使い方 (1) 各段落の書き出しは、一字分下げる。 (2) 句読点や符号などは、原則それぞれ一字分をあてる。 (3) 文末の句読点と括弧の閉じの部分は、同じマスに書いてよい。 (4) 句読点や括弧の閉じの部分が行末にくる場合は、行末の文字と同じマス又は欄外に書く。 ○ その他のことについては、各学校で統一して採点する。

（配点）※

表記		文字数	構成	内容	
1	2	1	1	5	5

（小計）※　15

受検番号

※（合計）

得点　60